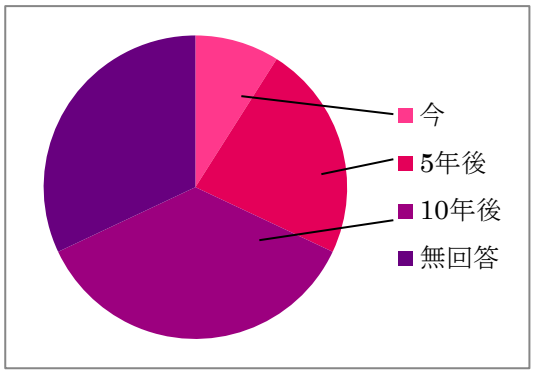
路線バス・ふれあいバス　アンケート結果の概要

１　家族の誰かは移動手段に困っているか
今困っている：９％　５年後困るだろう：25％
10 年後困るだろう：36％



2　利用しない理由　路線バス　ふれあいバス

	路線バス	ふれあいバス
必要がないから	51％	51％
利用しにくいから	15％	20％

3　路線バス　今後こうあってほしい
・今までのようにせめて通勤通学の時間帯は運行を続けてほしい。
・夜８時まで位はないと本当に困る。絶対運行を続けてほしい。
・本数を増やしてほしい。
・バス停の間隔を短くできないか。
・土日もバスを走らせてほしい。

路線バス

4　地域として、路線バス存続のためにどうするか
・将来は必要なのだから、マイカーに頼っている人もたまにはバスに乗る。
・「私は月に何回バスに乗ります」と宣言するなどみんなで利用の意志表明をする。
・お得感のバスカードの発行等　地域全体でバスカードの購入を勧める。

５　ふれあいバス　今後こうあってほしい
・乗り換え無しで東海中央病院・アピタへ行けるようにしてほしい。
・東海中央病院の診察が終わって 10 時 28 分の後は 12 時 58 分しかバスがない。なんとかしてください。
・土日もアピタ・ユーホームに行けるようにしてほしい。
・鵜沼宿駅・新鵜沼駅で電車の発着時刻に合わせてほしい。
・那加・稲羽・蘇原・川島方面へ行くのに乗り継ぎなしか、乗り継ぎを便利にしてほしい。
・停留所に屋根がほしい。
・バス停の間隔を短くできないか。

6　新たに地域住民で移動手段を作るとしたらどんなことが考えられるか
・相乗りタクシーを運行し近場の送迎をする。・身近な 4．5 か所の巡回タクシーを走らせる。・サイクルシェア（自転車を使いまわす）　ライドシェア（自家用車で運ぶ）　ボランティアの増員
・なにより、みんなで意識してふれあいバスを大いに活用し充実させる。